



麻生内閣政権末期の様相

麻生総理は、「政局より政策」と言って解散・総選挙を先送りしたにもかかわらず、第2次補正予算は年内の提出をしないなどと、矛盾に満ちた対応をし、また、総理としての資質にかかわる発言などもあって支持率は急降下しました。もはや与党内からも、「麻生総理の下では選挙が戦えない」との声が噴出し、政権は末期的様相を示しています。

解散の日程ははっきりしませんが、民主党は、一刻も早く総選挙を行い、しっかりと国民の信任を得た政権によって、急速に悪化した経済・景気対策にあたるべきであると訴えています。

雇用対策関連4法案、参議院で可決

こうしたなか、民主党など野党3党は去る15日、緊急雇用対策4法案を参議院に提出しました。これは、麻生内閣が緊急経済・雇用対策を盛り込んだ第



民主党緊急雇用対策本部の会合
あいさつする菅直人本部長と細川律夫事務総長

2次補正を出さないとしたため、民主党が法案化できるところを早急にまとめ、今年中に成立が可能になるよう、提出したものです。急速に経済と雇用が悪化するなか、麻生首相は構想を示すだけで具体的には何も対策を実施していません。こんなことでは、今の政権は機能不全に陥っていると言われてもしかたないでしょう。

細川律夫議員が雇用法案をまとめる



細川律夫代議士は、民主党の「非正規雇用対策プロジェクトチーム」の座長として、この4法案をまとめたものです。この4法案

には派遣切りや内定取り消しを防止すること、職と住居を失った人に住まいと生活の支援をすることなど、緊急対策を盛り込んでいます。

この4法案は19日の参議院本会議で野党の賛成により可決され、衆議院に送られました。衆議院で与党の対応が注目されます。与野党の協議でまとめられるところだけでも成立すれば、必ずや多くの人が救われることになります。

どうなる、タクシー問題

細川律夫代議士はかねてから交通運輸の問題に取り組んでいます。現在は、党国土交通部門に置かれている「タクシー関連法案等検討小委員会」の座長として、規制緩和の影の部分と言われて久しいタクシーの問題に取り組んでいます。これまで、タクシー運転者の皆さん、事業者の方々などから意見をうかがってきました。

タクシーは規制緩和以来増車が相次ぎ、交通渋滞や事故の原因になる一方、運転者の収入は低下し続けるなど、規制緩和の悪い影響がもっとも顕著に現れた分野と言ってよいでしょう。やっとな国土交通省が腰を挙げ、需給の調整や運賃制度などの検討をしていますが、それが本当に現在の問題を解決するかどうかは疑問です。来年の通常国会で法案が出される予定ですが、それに向け、議論を続けているところです。



12月16日のタクシー小委員会の会合にて
右側は説明する国土交通省の局長ら

予算措置など各大臣に要望



森法相に要望書を手渡す

ます。11月18日、20日に、森法務大臣、平田財務副大臣を訪ね、国選弁護人報酬の予算確保につ

細川代議士は民主党『次の内閣』法務大臣として、法務部門の様々な活動を行って

いて要請しました。来年5月から裁判員裁判が始まりますが、それに伴い国選弁護人の負担も大きくなります。国選弁護人を確保することは、国民の司法参加のためにも欠かせません。

一方、12月5日には、私鉄政策議員懇として、乗務員の労働時間などについて舛添厚生労働大臣に要請をしました。



舛添大臣と懇談する議員と私鉄の皆さん

草加会場に岡田副代表

恒例の細川律夫新春賀詞交歓会は、下記のとおり行う予定です。草加会場には岡田克也民主党副代表をお招きしています。お気軽にご参加ください。

細川律夫新春賀詞交歓会

越谷会場

日時 1月10日(土)午後6時

場所 ベルヴィ・ギャザホール

草加会場

日時 1月19日(月)午後6時30分

場所 草加アコスホール

会費

男性 5,000円 女性 3,000円

細川律夫より一言

今年も残り少なくなりました。国会は25日に閉会し、1月5日に通常国会が始まります。経済はますます悪化し、深刻な事態となっています。皆さんが安心して2年を越せよう。法務作りに次長といえども。